

詰将棋解答選手権2022一般戦出題作解題

① 松田圭市作

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王	一
									二
						歩		銀	三
				馬	角	香			四
									五
									六
									七
									八
									九

32歩不成、44馬、12歩、21玉、31歩成まで5手詰

実戦感覚で初手歩を成ってしまうと、44馬と角を抜かれた局面で12歩が打歩詰の禁手となり、22銀成(と)も同馬で詰まなくなってしまう。

初手32歩不成として21への利きが生じないようにすれば12歩が打てます。

やさしい問題でしたが、33の歩が最初は成らなくて次には成るという動きにおもしろさがあります。

② 柴田三津雄作

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							王	玉	一
		皇		銀				香	二
				玉		香			三
					歩			銀	四
									五
		飛							六
飛							馬		七
									八
									九

76角、54馬、31金、22玉、27飛、同馬、32角成(金)まで7手詰

強力な守備網をかいぐるには初手が肝心です。

27飛は26歩合、65角、54歩合で、また91飛成は81歩合で、以下31金と追っても後続手がありません。

初手は76角と飛香の焦点に打つのが妙着。同香なら31金、22玉、27飛まで。同飛なら91飛成で簡単。2手目は54馬と移動合をするのが受けの好手です。

そのあとは金打以下、馬がスイッチバック(駒が往復して元位置に戻る)して詰みます。

③ 中澤宣幸作

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
			王	玉		馬	銀		一
		と		香					二
						王			三
									四
		桂							五
				馬	馬				六
									七
									八
									九

41飛、同玉、45香、43飛合、32金、51玉、63桂、同飛、41金まで9手詰

初手から迷いますが、41飛捨てが正解。同龍なら62金、42玉、44香、43合、34桂まで。

同玉に45香で馬と龍の利きを絞ります。同馬なら32金、51玉、43桂まで。同龍なら32金、51玉、63桂まで。

45香にたいして最長手順となる受けは43飛の中合。同香不成は同龍で詰まないの、32金、51玉、63桂、同飛と合駒を動かして詰め上げます。

④ 山路大輔作

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						皇	料		一 持駒
				飛				皇	二 角
					香	王			三 銀
									四 桂
				香	銀				五 桂
								香	六 桂
									七
									八
									九

51角、42桂合、同角成、22玉、14桂、同香、11銀、同玉、33馬、同桂、23桂、21玉、13桂まで13手詰

まず51角と打って合駒をたずねます。歩合は同角成、22玉、23歩、同玉、24銀以下の追い詰め。桂合が最強の抵抗ですが、同角成、22玉と逃げたときに14桂打で香を吊り上げておくのがポイント。

そのあとも開き王手をしないで11銀、同玉（13玉は25桂、23玉、22銀成、同玉、33馬まで。23玉は33馬、同玉、22飛成まで）と玉を下段に落とし、馬を捨てて飛筋を通すのが詰手筋というものです。

⑤ 須藤大輔作

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一 持駒
				馬	角				二 金
									三 金
						王			四 金
				龍			王		五 金
						料			六 金
									七
									八
									九

33金、24玉、23金、同玉、25龍、同角、33飛、14玉、13金、24玉、23金、14玉、34飛成、同角、24角成まで15手詰

簡素な形で解図欲が湧きます。

初手24金は同飛、35金、43玉で届かず。25龍も同玉で大海に逃がす。飛を取るの玉を23に誘ってからにします。

25龍、同角、33飛、14玉のとき、じっと打つ尻金が俗手の好手。15玉なら36飛、24合、27桂まで。

持金が2枚とも横すべりする趣向も楽しめました。

⑥ 森長宏明作

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							王	香	一 持駒
龍	皇							飛	二 銀
						香		角	三 銀
						香			四 銀
									五
									六
									七
									八
								香	九

81龍、71歩合、同龍、同馬、32銀、12玉、31角成、17桂合、同香、同馬、24桂、同銀、13歩、同銀、21馬まで15手詰

32銀、12玉、31角成がねらいの筋ですが、初手からだ香を無料で取られて駒が足りなくなります。

初手91龍は同馬で意味がありません。そこで81龍と工夫します。同馬なら32銀、12玉、31角成と進んだときに18に合駒をするしかありませんが、歩合は二歩、桂も「行き所のない駒」なので打てません。他の駒なら同香、同馬のあと1手で詰んでしまいます。

しかし2手目には71歩合（桂合なら同龍、同馬、32銀、12玉、24桂以下早い）の妙防あり！馬が71にいれば31角成のとき17桂合が可能です。収束はその桂で打歩詰を打開します。